

# 職員行動計画書

【令和元年度】

科名	薬剤科	総括責任者	科長 高田 みゆき
—	—	副責任者	科長代理 鈴木 辰三・門倉 徹

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①適正かつ経済的な薬物使用に寄与します。  
②院外薬局との連携を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
定数配置された高額な薬剤の請求は、使用患者がわかるような請求方法へ変更する	薬剤師、看護師	薬品請求伝票に使用患者のわかる方法を検討し、実施する	高額薬剤2品目	工学薬剤11品目を実施済	S	高額薬剤1品目	(なし)
定数配置された薬剤の払い出し方法の変更を検討する	薬剤師、看護師	定数配置薬品・臨時請求薬品の使用状況の把握	使用状況表を作成する	年2回半期ごとに実施した	A	—	(なし)
院外薬局の質の向上と連携のために、講習会を開いてゆく	薬剤師、医師	院外薬局と講習会を開催する	年間6回以上	9回	A	8回	(なし)

## II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんや地域市民のみなさんへ薬の正しい服用を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
服薬指導(入院患者薬剤管理指導、入院患者退院時薬剤情報管理指導)の実施	薬剤師	服薬指導算定件数(入院服薬指導算定件数+退院指導算定件数)	11,000件	11,460件	A	11,899件	(なし)
地域住民向け講演会の開催	薬剤師	公民館での講演回数	年1回	0回	C	2回	情報発信件数

## III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①薬品購入費の削減に努めます。  
②服薬指導の積極的な実施により収入を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
後発品への切替え推進	薬剤師	後発品の切り替え率	90%以上	94.4%	A	94.3%	後発医薬品の使用割合
服薬指導(入院患者薬剤管理指導、入院患者退院時薬剤情報管理指導)の実施	薬剤師	服薬指導算定件数(入院服薬指導算定件数+退院指導算定件数)	11,000件	11,460件	A	11,899件	医薬収支比率

# 職員行動計画書

【令和元年度】

科名	薬剤科	総括責任者	科長 高田 みゆき
—	—	副責任者	科長代理 鈴木 辰三・門倉 徹

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

院内職員に学習の機会を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
医薬品安全管理研修会の開催	薬剤師	講義回数	年間1回	1回	A	年間1回	(なし)
院内薬剤研修会の開催	薬剤師 看護師	開催回数	年間3回	2回	C	0回	(なし)

## Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学会発表など学術活動の充実を図ります。
- ②情報発信により、地域貢献に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	薬剤師	発表回数	年4回	5回	A	7回	学会及び論文研究発表件数
地域住民向け講演会の開催	薬剤師	公民館での講演回数	年1回	0回	C	2回	講座及び講演数
実習生を受け入れる	薬剤師	受け入れ人数	5人	5人	A	2人	学生実習受入人数

# 職員行動計画書

【令和元年度】

科名	放射線技術科	総括責任者	科長	石川 修二
—	—	副責任者	科長代理	河並 昭彦

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①地域医療連携で医療機器の共同利用を推進します。
- ②高精度治療SRTを推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
医療機器の委託検査推進(CT,MR,RI)	放射線技術科、地域連携室、放射線診断部	委託検査数	1,900件	1,875件	B	1,873件	紹介率・逆紹介率
高精度治療SRTの推進	放射線治療部、放射線技術科	患者数	30件	28件	B	38件	(なし)

## II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①救急センターからの検査依頼対応能力の強化を図ります。
- ②放射線検査の線量を測定し、放射線検査の線量の最適化を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
救急センターからの頭部、脊椎MRIについての対応	放射線技師	日当直対応技師の習熟率	100パーセント	100パーセント	A	90パーセント	(なし)
被ばくワーキンググループを中心に線量最適化	放射線技師	DRL2015の線量为目标とする	全モダリティ	全モダリティ達成	A	なし	(なし)

## III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①土曜日、日曜日のMR委託検査を定着させ、検査数を維持し収入を安定させます。
- ②専従治療技師の体制を維持し、治療加算を維持します。
- ③放射線科機器の修理費を削減します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
MR委託検査数	診断部医師、放射線技師、地域連携室	MR委託検査数	700件	722件	A	696件	医業収支比率
専従治療技師体制の維持	放射線技師	現状の加算体制の維持	現状の加算体制の維持	加算体制維持	A	現状の加算体制の維持	医業収支比率
放射線機器の修理費の削減	放射線科管理職	修理費定価から10パーセント減	修理費定価から10パーセント減	-	S	なし	医業収支比率

# 職員行動計画書

【令和元年度】

科名	放射線技術科	総括責任者	科長	石川 修二
—	—	副責任者	科長代理	河並 昭彦

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①院外講習会などに積極的に参加し専門知識の向上に努めます。
- ②業務充実のため専門資格の保持、更新へ取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
各学会、講習会参加数	放射線技師	延べ参加人数	60名	68名	A	延べ98名	(なし)
専門資格の保持、推進への取り組み	放射線技師	人数	延べ25名	28名	A	延べ26名	有資格者数

## Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学会講習会での学術活動の充実を図ります。
- ②放射線技師学校の臨床実習の学生を育成します。

	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
各学会、講習会の発表数	放射線技師	発表数	5件	6回	A	13件	学会及び論文研究発表件数
放射線技師学校の臨床実習生の受け入れ	放射線技師	人数	2名	4名	S	2名	学生実習受入人数

# 職員行動計画書

【令和元年度】

科名	臨床工学科	総括責任者	科長	熊澤 義雄
—	—	副責任者	主任医療技師	中西 利基

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い高度医療機器を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
医療機器を安心して使用できる質の高い体制 (保守点検の実施)	臨床工学技士	ME機器点検件数	前年度5%増	16,187件	A	15,246件	(なし)
医療機器を安心して使用できる質の高い体制 (病棟ラウンドの実施)	臨床工学技士	病棟ラウンド件数	前年度件数維持	5,641件	A	約3,700件	(なし)

## II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

断らない治療を実現する臨床工学技術を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
非透析日における技術提供	臨床工学技士	非透析日の対応率	100%	100%	A	100%	(なし)
非心臓カテーテル検査日における技術提供	臨床工学技士	非検査日の対応率	100%	100%	A	100%	(なし)
非心臓手術日における技術提供	臨床工学技士	非手術日の対応率	100%	100%	A	100%	(なし)

## III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①コストの見える化の推進します。
- ②情報の共有を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
臨床工学科室の使用物品のコストのリスト化	臨床工学技士	リストの作成	3件	3件	A	無し	診療材料費対医業収益比率
臨床工学科室の使用物品の見直し	臨床工学技士	コスト削減	5%減	26%	A	無し	診療材料費対医業収益比率
定期的な科内情報交換の実施	臨床工学技士	定期実施	30回/年	30回	A	20回	(なし)

# 職員行動計画書

【令和元年度】

科名	臨床工学科	総括責任者	科長	熊澤 義雄
—	—	副責任者	主任医療技師	中西 利基

## IV 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療機器の安全な使用方法を学ぶ機会を提供します。
- ②研修会・学会に参加し、職員の知識・技術の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
医療機器安全研修会の開催	臨床工学技士	開催回数	10件	14件	A	14件	(なし)
院外の研修会・学会への参加	臨床工学技士	参加回数	3回/人	5.8件	A	3回/人	(なし)
院内の研修会・勉強会への参加	臨床工学技士	参加回数	10件/人	11.3件/人	A	5.7件/人	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

## V 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①研究発表などの学術活動の充実を図ります。
- ②近隣市立病院と連携します。
- ③臨床工学に関心のある方に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会研究発表	臨床工学技士	発表数	2回	2回	A	4回	学会及び論文研究発表件数
近隣市立病院との研修会の実施	臨床工学技士	実施回数	3回	2回	C	2回	(なし)
臨床工学に関心のある学生の実習受入	臨床工学技士	受け入れ人数	9名	9名	A	13名	学生実習受入人数
臨床工学に関心のある救急救命士の実習協力	救急科医師／臨床工学技士	受け入れ人数	前年度件数維持	17名	A	16名	(なし)
糖尿病患者に向けた透析医療の紹介	臨床工学技士	実施回数	1回	0回	C	0回	(なし)

# 職員行動計画書

【令和元年度】

科名	臨床検査科	総括責任者	科長	石田 博昭
—	—	副責任者	科長代理	關口 博子

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

チーム医療に積極的に参加し、他職種と連携を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
医療安全	医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハ技師	開催数(参加)	2回以上/年	1.2回/年	C	1.2回/年	(なし)
ICT	医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハ技師	開催数(参加)	2回以上/年	2回/年	A	2回/年	(なし)
乳腺カンファレンス	医師、看護師、視能訓練士、眼科診療助手、医療事務	開催数	毎月1回	12回	C	12回	(なし)

## II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんが快適に受診できる環境を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
医師への呼びかけによる採血の待ち時間の短縮	検査技師	採血待ち時間	3%削減	17分	C	17分	(なし)

# 職員行動計画書

【令和元年度】

科名	臨床検査科	総括責任者	科長	石田 博昭
—	—	副責任者	科長代理	關口 博子

## Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

職員の意識向上に努め、コスト削減を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
委託業務料の見直し	検査技師、病院総務課	委託業務料の削減	前年度比3%の削減	-	A	-	医業収支比率
業務の効率化による時間外勤務の削減	検査技師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比3%の削減	6時間56分	B	6時間45分	職員給与費対医業収益比率
腹部エコー、心エコーの実施	検査技師	検査件数	前年度比5%増	エコー5,339件、心エコー4,722件	B	エコー5616件、心エコー4222件	医業収支比率

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

様々な場に積極的に出席し、職員の能力向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
他部門主催の研修への参加	検査技師	参加数	1人あたり6回	1人あたり3.4回	C	1人あたり4.2回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
周囲の病院で症例検討会への参加	検査技師	参加数	1人あたり3回	1人あたり0.6回	C	1人あたり2回	(なし)
地域技師会への参加	検査技師	参加数	1人あたり3回	1人あたり0.8回	C	1人あたり0.8回	(なし)
資格の取得	検査技師	人数	2人	3人	A	5人	有資格者数

## Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 将来を担う人材の育成に貢献します。
- ② 学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
臨床検査学科を有する学校からの実習生の受け入れ	検査技師	人数	3人	3人	A	3人	学生実習受入人数
研究発表	検査技師	発表数	1回/年以上	2回	S	0回	学会及び論文研究発表件数



# 職員行動計画書

【令和元年度】

科名	栄養科	総括責任者	科長 古屋 久美子
—	—	副責任者	—

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①地域医療・福祉栄養部門の連携に取り組みます。
- ②リーダー的役割のあるチーム医療の充実に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
NST(Nutrition Support Team)研修会の実施	医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、言語聴覚士、臨床検査技師	開催数	5回	4回	C	5回	(なし)
地域連携栄養情報サマリーの導入	管理栄養士	作成数	50件	3件	C	なし	(なし)

## II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんに快適な療養環境を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
病院ホームページ、栄養科関連の更新	管理栄養士	更新回数	1回	4回	S	3回	情報発信件数
院内食事基準の一部改訂	管理栄養士	変更食種数	3食種	1食種	C	なし	(なし)

# 職員行動計画書

【令和元年度】

科名	栄養科	総括責任者	科長	古屋 久美子
—	—	副責任者		—

## Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

職員のコスト、経営への参加意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
栄養指導件数増加	医師、看護師、管理栄養士	栄養指導件数	3,500件	3,185件	B	3,622件	医業収支比率
食事療養費コストの提示	管理栄養士	提示件数	3項目	1項目	C	1項目	入院診療単価
乳児用ほ乳瓶等の運用見直し	管理栄養士	購入額	120,000円	126,920円	A	104,308円	診療材料費対医業収支比率
厨房内温度管理対策	管理栄養士	厨房内温度	24℃	25.1℃	B	25℃	経常収支比率

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 病院運営を理解するため、院内研修会に積極的に参加します。
- ② 業務充実のための専門資格の取得に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
科内症例検討会の実施	管理栄養士	開催数	12回	12回	A	12回	(なし)
院内研修会への参加	管理栄養士	参加数	1人あたり6回	1人あたり6.0回	A	1人あたり7.1回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
専門資格取得、保持、更新への取組	管理栄養士	人数	延13名	延13名	A	延13名	有資格者数

## Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 医療分野で活躍できる管理栄養士・学生の育成に努めます。
- ② 地域住民へ健康な食生活情報の発信に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
臨床栄養学実習受け入れの実施	管理栄養士	人数	8名	8名	A	10名	学生実習受入人数
栄養の日(8/4)イベント開催	管理栄養士	開催数	1回	1回	A	1回	講座及び講演数
病院広報誌へのレシピ掲載	管理栄養士	掲載数	2回	2回	A	1回	(なし)

# 職員行動計画書

【令和元年度】

室名	医療安全管理室	総括責任者	室長 奥貫 由美
—	—	副責任者	—

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

安全で質の高い医療を提供する環境を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
リスク管理を推進する	部門医療安全管理者、 セーフティマネージャー、 セーフティスタッフ、 医療安全管理者	アクシデント・インシデントレポートの報告数	3,000件	3,098件	A	2,953件	(なし)
		アクシデント・インシデントレポートのレベル3以上の報告数	50件以下	42件	A	50件	(なし)

## II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

院内医療事故の発生を防止するよう努め、患者さんが安心して受診、療養できる環境を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
レベル3b以上のアクシデント報告数が前年度以下になるように再発防止策の提案に努める	部門医療安全管理者、 セーフティマネージャー、 医療安全管理者	レベル3b以上のアクシデント報告数	1件以下	1件	A	2件	(なし)
		再発防止策の提案	2種	3種 ①CVカテーテル事故抜去時の対応フローの改訂 ②気管切開チューブ抜去事故トラブル回避対策 ③マスクを介した人工呼吸器官機事故防止対策	A	4種	(なし)

## III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- 5S活動の定着化を図り、職員のコスト意識向上に努めます。
- 医療安全対策加算における新設された医療安全対策地域連携加算の運用の定着を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
5S活動を通じた改善による効率化の推進	セーフティマネージャー セーフティスタッフ、 医療安全管理者	定数薬剤の不動在庫見直し	1回実施	1回実施	A	1回実施	薬品費対医業収益比率
医療安全対策地域連携加算要項の医療安全管理体制相互評価運用の定着	医療安全管理部門	医療安全対策相互評価実施	実施	実施 ①9月12日 ②11月22日 ③12月10日	A	実施	医業収支比率

# 職員行動計画書

【令和元年度】

室名	医療安全管理室	総括責任者	室長 奥貫 由美
—	—	副責任者	—

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

医療安全体制を理解するための研修会を開催します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
医療安全研修会(職員対象)の開催	医療安全管理室、 医療安全担当者会	研修開催数	11回開催	10回開催 (集合研修) 2回開催 (Web研修)	A	11回開催	(なし)
医療安全研修会(専門医医療安全対象)の開催	医療安全管理室、 病院総務課担当者	研修開催数	1回開催	1回開催	A	1回開催	(なし)

## Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

地域の中核病院として、医療の安全に関する情報を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
地域医療機関の医療者の研修参加を支援する	医療安全管理室、 病診連携室担当者	研修開催数	1回開催	1回開催	A	1回開催	講座及び講演数

# 職員行動計画書

【令和元年度】

室名	病診連携室	総括責任者	室長	田丸 勝巳
—	—	副責任者	主査	白子 嘉威

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

地域医療連携の充実と指導的役割を果たします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
地域医療連携登録医との連携企画	医師、事務職	開催回数	1回(5月)	1回(5/29クロスミーティング)	A	1回	紹介率・逆紹介率
連携医療機関への訪問(湘南西部医療圏以外も訪問し、登録医増やす)	事務職、医師、看護師、MSW、PSW	年間日数	80日(週2日の頻度)	88日	A	71日	紹介率・逆紹介率
地域の医療従事者向け研修企画	医師、事務職	OpenCancerBoardまたはオープンカンファレンスの企画	年2回以上	2回(9/26:OCB泌尿器、1/23:BMZ研修会)	A	2回(クロスミーティング、オープンがんセンターボード)	紹介率・逆紹介率
クロスピッチ有効活用	事務職、医師、看護師	利用件数	52件/月	54.9件/月	A	51.7件/月	紹介率・逆紹介率

## II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

医療機能分化の啓発・広報活動を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
病院広報誌「SMILE!」紙面上での医療機能分化啓発記事の掲載	事務職	紙面掲載回数	1回以上/年	1回(Vol.27地域包括ケア記事)	A	2回	(なし)
病院ホームページ連携室ページの更新	事務職	更新回数	2回以上/年	8回	S	5回	(なし)

# 職員行動計画書

【令和元年度】

室名	病診連携室	総括責任者	室長	田丸 勝巳
—	—	副責任者	主査	白子 嘉威

## Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

スムーズな入退院ベッドコントロールに貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
クリニック、病院からの転院受け入れ	事務職	受入成功率(外来受診に至った数÷相談件数)	90%	53%	C	計測していません 相談件数49件	1日当たり平均入院患者数
ER、外来からの転送調整	事務職	転送成功率(転送に至った数÷依頼件数)	90%	98%	A	計測していません 依頼件数155件	(なし)

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

室内スタッフの能力向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
室内における個人情報保護・情報セキュリティ対策の意識向上	事務職	院外研修の受講回数(嘱託員)	年1回(嘱託スタッフ3名のうち1名以上)	0回	C	嘱託:0回	(なし)

## Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

地域医療支援病院・がん診療連携指定病院として、地域において指導的役割を果たします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
小中学生むけのがん教育 平塚市役所の教育指導課と実施に向けた検討	事務職	協議回数	年2回以上	0回	C	1回	(なし)

# 職員行動計画書

【令和元年度】

室名	退院支援・医療相談室	総括責任者	室長	松原 隆
—	—	副責任者	室長代理	女屋 早苗

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

地域に根ざした急性期・救命医療の実施を果たすために、地域医療連携を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
急性期病院としての役割を果たすために当室が介入するケースの平均入院期間が短くなるよう入退院支援の仕組みを作る	退院調整看護師 MSW 病棟看護師、医師	当室介入ケースの平均入院期間	29日	30.9日	B	31日	(なし)
訪問看護師や地域包括支援センターと情報を共有のためのミーティングを実施する。	退院調整看護師 MSW	開催数	2回	0回	C	0回	(なし)
地域で行われる退院支援に関連する会議(医療介護連携推進協議会、神奈川県中西部病院MSW連絡会、地域連携診療計画にかかる合同委員会)会議に出席する。	退院調整看護師 MSW	出席数	6回	6回	A	医療介護連携推進協議会2回、中西部病院連絡会2回、地域連携会議2回	(なし)

## II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

後方連携機関と緊密に連携を図り、患者様・ご家族が安心・満足して次の療養場所に移行できるよう支援します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
患者様・ご家族が安心して入院し、退院後の生活に速やかに移行できる仕組みを作る。	医師、病棟看護師、MSW、退院調整看護師	入退院支援加算算定数 入院時支援加算算定数	平均 70件/月 開始後から 平均10件/月	平均104件/月 試行開始3月1件	C	46.3件/月 0件	(なし)
後方連携機関に関して、より具体的な説明を患者様・ご家族に行えるよう後方連携機関と面談し、情報を共有する。	所属職員全員	面談件数	延60回 20施設×3回	21施設と3回以上	A	60施設と延104回(20施設×3回、4施設×2回、36施設×1回)	(なし)
11～2月の3ヶ月間に当室が対応したケースにアンケートを実施し、患者様・ご家族に開かれた退院支援・医療相談室をつくる。	所属職員全員	アンケート回答件数	100件	行わず	C	配付96枚 回収77枚	(なし)

# 職員行動計画書

【令和元年度】

室名	退院支援・医療相談室	総括責任者	室長	松原 隆
—	—	副責任者	室長代理	女屋 早苗

## Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

必要な指導を適切に実施することで収入を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
入院時支援加算、退院支援加算を算定する。	所属職員全員 看護部	入退院支援加算算定数 入院時支援加算算定数	平均70件/月 開始後から 平均10件/月	104件/月 試行開始3月1件	C	46.3件/月 0件	医業収支比率
患者様・ご家族の思いや意志決定を尊重して 介護支援連携指導実施する。	医師、病棟看護師、 MSW、退院調整看 護師その他メディ カル	連携指導開催件数	15件/月	18件/月	A	平均15.7件/月	医業収支比率
地域で必要なサービスが受けられ、その人らしく 生活ができるように退院時共同指導を実施 する。	医師、病棟看護師、 MSW、退院調整看 護師その他メディ カル	共同指導開催件数	13件/月	11件/月	C	平均13.1件/月	医業収支比率

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、 評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

院内外の研修に積極的に参加し、地域における病院の役割を理解し、職員としての知識・スキルを高めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
院内外主催の研修に参加する。	所属職員全員	参加数	5回/年	平均は9回/年 20回以上:4名 2回/年:1名(事 務)	A	平均10回/年 5回/年:1名 6回以上/年:11 名	職員向け院内研修 会の1人当たりの参 加数
院内スタッフの地域連携に関する知識を高め られるような研修を企画する。(療養型病院や 回復期リハ病棟、自宅療養についてなど、そ れぞれの施設の医師や相談員を講師にお迎 えしたい)	所属職員全員	開催数	2回/年	病病連携関連で はなく、児童虐 待関連で当院の 役割を学習 2回/年	A	7/24Web研修開 催 7/31訪問看護師 を招いてリンク ナース、師長を 対象に実施	(なし)

## Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活 動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

地域包括ケアシステムについて周知活動を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
地域包括ケアシステムや地域連携に関心のあ る実習生や研修生の受け入れ	退院調整看護師 MSW	実習・研修機関数	2団体	2団体	A	2団体17名	学生実習受入人数



# 職員行動計画書

【令和元年度】

課名	経営企画課	総括責任者	課長	相澤 史幸
—	—	副責任者	担当長	石井 広明

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①平塚市民病院将来構想を着実に推進します。
- ②適正に病院会計業務を遂行します。
- ③院内への将来構想の理念の浸透に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
経営戦略に対するKPIの進捗状況の自己点検及び平塚市民病院運営審議会の外部点検による適切な監理	事務職	進捗点検の実施	2回	2回	A	2回	(なし)
職員行動計画の策定及び進捗管理	事務職	進捗点検の実施	2回	2回	A	2回	(なし)
財務データに基づく出納状況の随時把握と財務資料の定期的な作成	事務職	翌月末を期限に提出	12回	12回	A	12回	(なし)
行動計画策定プロジェクトチームの設置及びワークショップHCHの運営管理	事務職	次年度に向けた提案	完了	完了	A	完了	(なし)
開業医向け冊子「診療のご案内」の充実	事務職	「診療のご案内」の充実	充実して作成	作成済み	A	-	紹介率・逆紹介率

## II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

患者、市民に対して、積極的に情報を発信します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
院内での市民健康講座の開催	医師、看護職、医療技術職、事務職	開催回数	6回	4回	C	9回	情報発信件数
病院広報誌「SMILE！」の発行	医師、看護職、医療技術職、事務職	発行回数	4回	4回	A	4回	情報発信件数
ホームページの充実	医師、看護職、医療技術職、事務職	ホームページアクセス数	22,000回/月	23,884回/月	A	21,746回/月	情報発信件数

# 職員行動計画書

【令和元年度】

課名	経営企画課	総括責任者	課長	相澤 史幸
—	—	副責任者	担当長	石井 広明

## Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①事業運転資金を確保します。  
②経営健全化のため、経営改善を実施します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
病院や各部署の特徴、弱点、傾向を分析し、経営幹部や現場へ還元	事務職	経営戦略会議での分析報告回数	4回	7回	A	7回	経常収支比率
病院や各部署の特徴、弱点、傾向を分析し、経営幹部や現場へ還元	事務職	診療科への情報還元回数	3回	3回	A	5回	経常収支比率
現金・預金残高の常時把握及び必要に応じた関係部署との調整及び資金調達	事務職	現金預金残高の増加	前年度末以上	1,738,351千円	A	1,613,567千円	現金預金残高
将来構想の見直し	事務職	将来構想見直しの進捗状況	パブコメ素案の作成	見直しに向けての基本的な考え方を確定	C	-	(なし)

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

院内外の研修に積極的に参加することで、職員の能力向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
経営マネジメント全般、職員行動計画の策定やデータ分析に関する研修会等への参加	事務職	研修会等への参加	1回以上	1回	A	2回	(なし)
経理知識の向上を図るための研修会等への参加	事務職	研修会等への参加	1回以上	0回	C	1回	(なし)
医療情報システムの知識、IT技術を深めるため、システム更新や保守、新技術等の情報収集	事務職	研修会等への参加	1回以上	3回	S	3回	(なし)
院内研修会への参加	事務職	参加数	1人当たり6回	3回	C	1人当たり4.1回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

# 職員行動計画書

【令和元年度】

課名	経営企画課	総括責任者	課長	相澤 史幸
—	—	副責任者	担当長	石井 広明

## V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 持続的な病院の健全経営により、公立病院が担うべき役割を果たします。
- ② 病院経営の透明性の向上を図ります。
- ③ 患者、市民に対して、積極的に情報を発信します。
- ④ 災害に対応できる体制を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
病院や各部署の特徴、弱点、傾向を分析し、経営幹部や現場へ還元【再掲】	事務職	分析報告	4回	7回	A	7回	(なし)
将来構想の進捗状況の公表	事務職	公表回数	2回	2回	A	2回	(なし)
院内での市民健康講座の開催【再掲】	医師、看護職、医療技術職、事務職	開催回数	6回	4回	C	9回	講座及び講演数
患者用Wi-Fiの整備	事務職	整備状況	完了	完了	A	-	(なし)
病院の取組について院内院外に向けて発信する	事務職	発表数	1回	1回	A	1回	学会及び論文研究発表件数

# 職員行動計画書

【令和元年度】

科名	病院総務課	総括責任者	課長 野上 正志
—	—	副責任者	担当長 高梨 一広、高田 誠二

## I 医療の質と効率の視点 【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

高度医療器械等の整備を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
効率的な医療器械等の購入	医師、看護職、医療技術職、事務職	A評価医療機器の値引き率	39.0%	-	A	-	(なし)

## II 患者満足の視点 【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんに快適な施設環境の提供に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
患者さんからの施設に関する意見への丁寧な対応	事務職	満足度調査(施設面)の満足度	施設面各項目において前年度の平均点以上	入院4.1 外来3.7	A	入院4.0 外来3.7	(なし)
計画的な施設改善	事務職	経年劣化箇所の改善計画の作成	要改善施設の順位付け及び概算費用の見積り	未実施(概算費用算出が困難なため、R2年度に委託にて実施する)	C	本館のみリスト作成	(なし)
全員コンシェルジュの推進	事務職	「利用者の声」による高評価	2件	1件	C	0件	(なし)

# 職員行動計画書

【令和元年度】

科名	病院総務課	総括責任者	課長 野上 正志
—	—	副責任者	担当長 高梨 一広、高田 誠二

## Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

薬品費及び診療材料費の削減に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
薬品卸業者等に対する価格交渉	薬剤師、事務職	特別交渉開催数	2回	2回	A	3回	薬品費対医業収益比率
診療材料卸業者等に対する価格交渉	事務職	医業収益に対する診療材料費比率	11.55%	10.7%	A	10.6%	診療材料費対医業収益比率
事務効率化による時間外勤務の削減	事務職	1人当たり時間外勤務時間数(月平均)	前年度比5%削減	38時間54分	A	42時間10分	職員給与費対医業収益比率
効率的な医療器械等の購入【再掲】	医師、看護職、医療技術職、事務職	A評価医療機器の値引き率	39.0%	-	A	-	(なし)

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

院内研修会に積極的に参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
事務職向け院内研修会への参加促進	事務職	事務職向け院内研修会参加回数	1人当たり6回	1人当たり3.4回	C	1人当たり3.7回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

## Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

エコモードを推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
昼休みにおける照明及びパソコンの節電	事務職	消灯率及びパソコンスリープ率	100% (支障のない範囲)	100%	A	ほぼ100%	社会貢献活動の実施数

# 職員行動計画書

【令和元年度】

科名	医事課	総括責任者	課長 田丸 勝巳
—	—	副責任者	担当長 田邊 高達、守屋 正彦

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療現場における事務の体制強化を図ります。
- ②医療の質の向上と効率化を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
入院コスト算定と病棟クレーク業務の効率的な分業化による請求の質の向上	事務職	実施有無	有	有	A	-	(なし)
医療事務の救急医療部門の体制強化(医療の質の向上)のため委託業者の選定	事務職	実施有無	有	有	A	-	(なし)
医師業務負担軽減のためのドクターズクラークの増員	事務職	増員数	3名	1名	C	-	(なし)
新規クリニカルパスの導入(中止は含めない)	事務職	導入件数	5種類増加	12種類増加	S	5種類増加	(なし)

## II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①満足していただける医療を提供します。
- ②患者さんからの意見を目に見える形で改善します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
患者満足度調査の実施	事務職	実施有無	有	有	A	1回	(なし)
待ち時間調査の実施による会計時間短縮	事務職	会計待時間	前年度比短縮	待時間 5分 放射線受付で会計開始により短縮実現	A	1回	(なし)
院内コンサートの実施	事務職	実施回数	年3回	3回	A	3回	(なし)
利用者の声の実現	事務職	実現件数	3件実現	2件実現	B	2件	(なし)

# 職員行動計画書

【令和元年度】

科名	医事課	総括責任者	課長 田丸 勝巳
—	—	副責任者	担当長 田邊 高逵、守屋 正彦

## Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①施設基準の取得を推進します。  
②コスト意識を持って経営に参画します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
新規施設基準の取得	事務職	件数	5件	6件	A	11件	入院診療単価
委託業者への収益診断及び精度調査実施の促進	事務職	回数	年4回	2回	C	4回	医業収支比率
現年度未収金額の減少	事務職	未収金額	前年度比3%減	16%減	S	前年度比54.2%増	医業収支比率
午後の外来ブロック縮小化の検討	事務職	検討有無	検討の実施	検討を実施	A	-	(なし)

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①「人」としての質と「組織」としての質を高めることができる風土づくりを推進します。  
②委託業者への研修をします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
院内及び院外の研修会に参加	事務職	件数	1人につき年6回	3回	C	1人につき7.5回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
委託業者との研修等	事務職	件数	月1回	月1回	A	月1回	(なし)

## Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

積極的に地域活動や人材育成などの社会貢献活動に参加協力します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
救急救命士病院実習受入人数	事務職	人数	毎年55人以上	72人	A	84人	社会貢献活動の実施数

# 職員行動計画書

【令和元年度】

室名	災害医療企画室	総括責任者	室長 宮崎 宏道
—	—	副責任者	副室長 高田 佳奈子

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

災害拠点病院として機能の向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
災害対応医療訓練の実施	所属職員全員	実施回数	1回/年	1回	A	1回	(なし)
自動参集訓練の実施	所属職員全員	実施回数	1回/年	1回	A	1回	(なし)
病院消防訓練の実施	所属職員全員	実施回数	2回/年	2回	A	2回	(なし)
EMIS入力訓練の実施	所属職員全員	実施回数	1回/年	1回	A	1回	(なし)

## II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

災害時に医療を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
災害時に地域に医療を提供	病院職員全員	災害時活動結果		なし		なし	(なし)
地域(南原)防災訓練参加	所属職員全員	参加回数	1回/年	1回	A	1回	(なし)

## III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

災害時に医療を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
BCP(事業継続計画)の改訂	所属職員全員	改訂回数	1回	1回	C	検証回数1回	(なし)
災害対応マニュアルの改訂	所属職員全員	改訂回数	1回	1回	A	検証回数1回	(なし)



# 職員行動計画書

【令和元年度】

室名	災害医療企画室	総括責任者	室長 宮崎 宏道
—	—	副責任者	副室長 高田 佳奈子

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①災害医療企画室のメンバーの能力向上を図ります。
- ②病院職員の災害に対する意識の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会参加	所属職員全員	参加回数	1回/年	0回	C	0回	(なし)
DMAT研修受講	所属職員全員	受講者数	5人	3人	C	3人	有資格者数
災害医療研修の実施	所属職員全員	実施回数	2回/年	2回	A	1回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

## Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①災害拠点病院として社会に貢献します。
- ②研究活動に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
発災時の医療活動の提供	所属職員全員	災害時の活動結果		なし		なし	(なし)
各種災害訓練参加(地域・県・国)	DMAT	参加回数	2回/年	2回	A	2回	社会貢献活動の実施数
ひらつな祭参加	所属職員全員	参加回数	1回/年	ひらつな祭中止	C	0回	社会貢献活動の実施数
地域災害医療コーディネーターとして活動	医師	活動結果	2回/年	1回(新型コロナウイルスの影響で会議1回中止)	C	2回	社会貢献活動の実施数
研究発表	所属職員全員	発表回数	1回/年	1回	A	0回	学会及び論文研究発表件数
論文発表	所属職員全員	論文数	1編/年	0編	C	0編	学会及び論文研究発表件数

# 職員行動計画書

【令和元年度】

室名	感染対策室	総括責任者	室長 厚川 和裕
—	—	副責任者	科長代理 石井 美千代

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 医療関連感染の予防に努め感染防止策を啓発します。
- ② 医療関連感染発生時は早期にアプローチし感染拡大を防止します。
- ③ 抗菌薬の適正使用を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
感染対策マニュアルの追加・改訂	ICT	マニュアル追加・改訂項目	3種類以上	5種類	A	2種類	(なし)
抗菌薬適正使用支援チーム(AST)の運営と担当医の支援	AST	デエスカレーション率	35%以上	48%	A	35%	(なし)
感染制御チーム(ICT)でのラウンドの実施	ICT	ラウンド回数	1病棟あたり3回/月	3回・月	A	3.1回/月	(なし)

## II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

病院コンシェルジュとして、感染に関する情報を患者及び地域住民にむけてわかりやすく発信します

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
市民向け講座の実施	医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師	市民講座の回数	1回	1回	A	2回	情報発信件数
ホームページ更新	医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師	更新回数	1回	1回	A	1回	情報発信件数

## III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

医療関連感染の発生を防ぎます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
適切な手指衛生の実施	ICT・リンクナース	1患者1日当たりの手指消毒回数(一般病棟看護師)	1患者当たり1日9回以上	14回/日	A	10.0回/日	(なし)

# 職員行動計画書

【令和元年度】

室名	感染対策室	総括責任者	室長 厚川 和裕
—	—	副責任者	科長代理 石井 美千代

## IV 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

職員教育と啓発活動に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会、院外研修への参加	医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師	学会、研修会参加回数	3回／年	6回	S	4回	(なし)
全職員対象研修の実施	ICT(感染コントロールチーム)	受講率	90%以上	100%	A	100.00%	(なし)
部門別研修の実施	ICT(感染コントロールチーム)	実施回数	4回以上/年	8回	S	19回	(なし)

## V 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

学術活動や院外の研修会の講師・講演に積極的に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
院外研修会での講師・講演	医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師	院外講師の件数	1回	3回	S	4回	講座及び講演数
学会、院外研修への参加	医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師	学会、研修会参加回数	3回／年	6回	S	4回	(なし)